

平成21年8月4日

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド
 コード番号 5331 URL <http://www.noritake.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 種村 均
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務部長 (氏名) 山田 耕三
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

TEL 052-561-7116

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	20,606	△39.7	△1,483	—	△1,364	—	△1,505	—
21年3月期第1四半期	34,185	—	2,566	—	2,784	—	933	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△10.48	—
21年3月期第1四半期	6.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	113,065	69,993	55.6	437.72
21年3月期	113,077	69,191	55.0	432.49

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 62,911百万円 21年3月期 62,163百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.50	—	2.50	7.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	40,000	△40.2	△2,800	—	△2,700	—	△3,400	—	△23.66
通期	85,000	△24.8	△3,000	—	△2,800	—	△3,900	—	△27.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 158,428,497株 21年3月期 158,428,497株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 14,702,289株 21年3月期 14,696,939株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 143,728,513株 21年3月期第1四半期 147,770,398株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の売上高は206億6百万円（前年同期比39.7%減少）であり、14億83百万円の営業損失、13億64百万円の経常損失、15億5百万円の四半期純損失となりました。

①事業の種類別セグメントの状況

（工業機材事業）

研削砥石及びCBN工具は、主要顧客である自動車、鉄鋼、ベアリングの各業界の生産の落ち込みの影響を受けて、売上げは減少いたしました。ダイヤモンド工具は、電子・半導体業界における生産調整の影響を受けて減少いたしました。研磨布紙は、景気の低迷や中国製安価品の攻勢により減少いたしました。その結果、工業機材事業の売上高は57億96百万円（前年同期比50.0%減少）、8億81百万円の営業損失となりました。

（セラミック・マテリアル事業）

電子ペースト及び電子部材は、電子部品産業の一部の分野で回復の兆しが見られるものの、前年同期比では売上げが減少いたしました。厚膜印刷回路基板は自動車業界の減産の影響を大きく受けたほか、セラミック原料等も景気の低迷を受けて減少いたしました。デンタル関連商品の売上げはほぼ横ばいとなりました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は59億66百万円（前年同期比33.1%減少）、営業利益は3億97百万円（前年同期比70.4%減少）となりました。

（環境エンジニアリング事業）

乾燥機及び焼成炉は、前年同期には高水準で推移したものの、当四半期は設備投資の減退の影響を受けて売上げが減少いたしました。その他鉄鋼業界向けの研削機械や工作油剤用の濾過装置等も設備投資が抑制されたことなどにより売上げが減少いたしました。その結果、環境エンジニアリング事業の売上高は51億91百万円（前年同期比27.8%減少）、営業利益は2億82百万円（前年同期比70.8%減少）となりました。

（食器事業）

国内市場におきましては、引き続きホテル・レストラン及び百貨店向けともに不振で売上げが減少いたしました。海外市場におきましても、北米における百貨店及び大型専門店向けが落ち込んだほか、欧州においても、需要の減退に加え、為替の影響を受けたことなどにより売上げが減少いたしました。その結果、食器事業の売上高は22億25百万円（前年同期比36.1%減少）、48百万円の営業損失となりました。

（電子事業）

国内、海外いずれの市場におきましても世界的な市況の低迷や為替の影響、また不採算の販売を整理したことにより売上げは減少いたしました。欧州において業務用調理器具用蛍光表示管が比較的堅調でありましたが、米州の純正車載用、オーディオ用、アジアのPOS用等が減少いたしました。その結果、電子事業の売上高は14億20百万円（前年同期比52.4%減少）、0百万円の営業損失となりました。

②所在地別セグメントの状況

（日本）

工業機材事業につきましては、研削砥石及びCBN工具は、主要顧客である自動車、鉄鋼、ベアリングの各業界の生産の落ち込みの影響を受けて売上げは減少いたしました。ダイヤモンド工具は電子・半導体業界における生産調整の影響を受けて減少いたしました。研磨布紙は、景気の低迷や中国製安価品の攻勢により減少いたしました。セラミック・マテリアル事業につきましては、電子ペースト及び電子部材が電子部品産業の一部の分野で回復の兆しが見られるものの、前年同期比では売上げが減少いたしました。厚膜印刷回路基板は、自動車業界の減産の影響を大きく受けたほか、セラミック原料等も景気の低迷を受けて減少いたしました。環境エンジニアリング事業につきましては、乾燥機及び焼成炉は、前年同期は高水準で推移したものの、当四半期は売上げが減少いたしました。その他鉄鋼業界向けの研削機械や工作油剤用の濾過装置等も景気の影響で設備投資が抑制されたことなどにより売上げが減少いたしました。食器事業につきましては、引き続きホテル・レストラン及び百貨店向けともに不振で売上げは減少いたしました。電子事業につきましては、市況の低迷や不採算の販売を整理したことにより売上げは減少いたしました。その結果、日本国内における売上高は184億20百万円（前年同期比39.3%減少）、13億11百万円の営業損失となりました。

（米州）

工業機材事業につきましては、研削砥石及びCBN工具、ダイヤモンド工具いずれも景気低迷の影響を受けて売上げが減少いたしました。食器事業につきましては、百貨店及び大型専門店向けともに不振で減少いたしました。電子事業につきましては、市況の低迷や不採算の販売を整理したことなどにより純正車載用、オーディオ用蛍光表示管の売上げが減少いたしました。その結果、米州における売上高は13億60百万円（前年同期比41.9%減少）、1億42百万円の営業損失となりました。

（欧州）

食器事業につきましては、需要の減退に加え、為替の影響を受けたことなどにより売上げが減少いたしました。電子事業につきましては、業務用調理器用蛍光表示管が比較的堅調でありましたが、その他の用途では市況の低迷や為替の影響を受けて減少いたしました。その結果、欧州における売上高は3億94百万円（前年同期比42.2%減少）、営業利益は18百万円（前年同期比61.7%減少）となりました。

（アジア）

工業機材事業につきましては、研磨布紙が景気の低迷や中国製安価品の攻勢を受けて売上げが減少いたしました。電子事業につきましては、POS用蛍光表示管等が減少いたしました。その結果、アジアにおける売上高は3億58百万円（前年同期比52.3%減少）、営業利益は18百万円となりました。

（その他）

売上高は72百万円（前年同期比14.1%減少）、2百万円の営業損失となりました。

この結果、在外地域全体の売上高は21億86百万円（前年同期比43.4%減少）、1億8百万円の営業損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、保有株式の株価上昇に伴い投資有価証券の時価総額が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことに加え、流動資産のその他に含まれる前渡金が減少したことから、前期末に比べ11百万円減少し1,130億65百万円となりました。

負債は、投資有価証券評価差額の増加に伴い繰延税金負債が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことから前期末に比べ8億13百万円減少し、430億72百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金の増加により、前期末に比べ8億1百万円増加し、699億93百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

営業活動によるキャッシュ・フローは4億3百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失14億18百万円に加え、仕入債務が22億25百万円減少した一方で、その他に含まれている前渡金の減少額17億30百万円、売上債権の減少額9億69百万円、たな卸資産の減少額9億63百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは6億94百万円の支出となりました。主な要因は有形及び無形固定資産の取得による支出7億24百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは5億79百万円の収入となりました。主な要因は配当金の支払額が3億59百万円あったものの、短期借入金の純増加額が9億78百万円あったことによるものです。

その結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は120億7百万円となり、前期末に比べ4億38百万円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の見通しにつきましては、昨年秋以降の世界的な景気後退に伴う生産調整の影響を受け、厳しい経営環境が続くものと思われませんが、収益力の改善、成長分野への注力を図ることにより連結業績予想値の達成を目指してまいります。従いまして、連結業績予想は平成21年5月11日発表の見通しを変更しておりません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

（たな卸資産の評価方法）

たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

（法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法）

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境の著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況について大幅な変動がないと認められる場合に、前連結会計年度末の回収可能性の判断を利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,908	12,433
受取手形及び売掛金	24,754	25,625
商品及び製品	8,131	8,198
仕掛品	4,287	4,617
原材料及び貯蔵品	2,699	3,076
その他	3,502	5,641
貸倒引当金	△118	△114
流動資産合計	56,165	59,478
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,220	12,199
その他(純額)	20,863	21,509
有形固定資産	33,084	33,708
無形固定資産	838	429
投資その他の資産		
投資有価証券	18,037	14,451
その他	5,046	5,119
貸倒引当金	△106	△110
投資その他の資産合計	22,977	19,460
固定資産合計	56,900	53,598
資産合計	113,065	113,077
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,135	12,182
短期借入金	12,087	11,104
未払法人税等	120	322
引当金	322	1,191
その他	5,101	4,784
流動負債合計	27,768	29,585
固定負債		
長期借入金	7,300	7,300
退職給付引当金	3,214	3,491
その他の引当金	673	826
その他	4,115	2,681
固定負債合計	15,303	14,299
負債合計	43,072	43,885

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,832	18,832
利益剰余金	35,463	37,328
自己株式	△6,498	△6,497
株主資本合計	63,430	65,296
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,925	1,892
為替換算調整勘定	△4,444	△5,026
評価・換算差額等合計	△518	△3,133
少数株主持分	7,081	7,028
純資産合計	69,993	69,191
負債純資産合計	113,065	113,077

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	34,185	20,606
売上原価	24,416	16,096
売上総利益	9,769	4,510
販売費及び一般管理費		
販売費	5,064	4,093
一般管理費	2,138	1,900
販売費及び一般管理費合計	7,202	5,993
営業利益又は営業損失(△)	2,566	△1,483
営業外収益		
受取利息	28	7
受取配当金	202	133
受取賃貸料	31	21
その他	25	69
営業外収益合計	288	232
営業外費用		
支払利息	48	49
その他	22	63
営業外費用合計	70	112
経常利益又は経常損失(△)	2,784	△1,364
特別利益		
固定資産売却益	163	24
その他	38	2
特別利益合計	201	26
特別損失		
固定資産処分損	25	2
減損損失	258	—
特別退職金	307	—
子会社整理損	—	61
その他	38	15
特別損失合計	628	80
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,356	△1,418
法人税、住民税及び事業税	701	57
法人税等調整額	556	48
法人税等合計	1,258	105
少数株主利益	165	△18
四半期純利益又は四半期純損失(△)	933	△1,505

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,356	△1,418
減価償却費	979	936
減損損失	258	—
のれん償却額	2	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	△4
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△48	△301
その他の引当金の増減額(△は減少)	△184	△153
受取利息及び受取配当金	△231	△141
支払利息	48	49
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△9	—
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△137	△21
売上債権の増減額(△は増加)	3,721	969
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,048	963
仕入債務の増減額(△は減少)	△620	△2,225
その他	623	1,902
小計	7,798	553
利息及び配当金の受取額	232	142
利息の支払額	△37	△43
法人税等の支払額	△2,526	△249
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,466	403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,418	△724
有形及び無形固定資産の売却による収入	896	20
投資有価証券の取得による支出	△3	△7
投資有価証券の売却による収入	13	—
貸付金の回収による収入	2	0
子会社株式の取得による支出	△256	—
定期預金の預入による支出	△830	△0
定期預金の払戻による収入	636	—
その他	1	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△959	△694
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	81	978
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△664	△359
その他	△68	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△655	579
現金及び現金同等物に係る換算差額	△371	149
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,481	438
現金及び現金同等物の期首残高	12,168	11,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,649	12,007

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	工業機材 (百万円)	セラミック・マテリアル (百万円)	環境エンジニアリング (百万円)	食器 (百万円)	電子 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	11,602	8,917	7,190	3,481	2,993	34,185	—	34,185
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5	246	82	10	0	345	(345)	—
計	11,608	9,164	7,273	3,491	2,993	34,531	(345)	34,185
営業利益又は営業損失(△)	1,622	1,339	968	△208	129	3,852	(1,285)	2,566

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	工業機材 (百万円)	セラミック・マテリアル (百万円)	環境エンジニアリング (百万円)	食器 (百万円)	電子 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	5,796	5,966	5,191	2,225	1,426	20,606	—	20,606
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	104	22	5	—	136	(136)	—
計	5,800	6,070	5,214	2,231	1,426	20,743	(136)	20,606
営業利益又は営業損失(△)	△881	397	282	△48	△0	△251	(1,231)	△1,483

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	30,325	2,339	683	752	84	34,185	—	34,185
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,903	11	16	579	1	3,513	(3,513)	—
計	33,228	2,351	699	1,332	86	37,698	(3,513)	34,185
営業利益又は営業損失 (△)	2,533	△112	47	△49	0	2,418	147	2,566

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	18,420	1,360	394	358	72	20,606	—	20,606
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,336	16	19	434	0	1,807	(1,807)	—
計	19,756	1,376	414	793	73	22,414	(1,807)	20,606
営業利益又は営業損失 (△)	△1,311	△142	18	18	△2	△1,419	(64)	△1,483

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)
I 海外売上高 (百万円)	2,591	881	6,273	225	9,971
II 連結売上高 (百万円)					34,185
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	7.6	2.6	18.3	0.7	29.2

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)
I 海外売上高 (百万円)	1,452	493	3,063	100	5,110
II 連結売上高 (百万円)					20,606
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	7.0	2.4	14.9	0.5	24.8

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。